

課内保管用

※配付厳禁※

平成16年度

沖縄県海外留学生修了報告書

財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団

はじめに

沖縄県海外留学生受入事業は、当財団が沖縄県より受託して行っております。

当事業には『海外移住者子弟留学生』『ボリビア移住者子弟農業留学生』『アジア諸国等海外留学生』の、3つの受入形態があります。

各国の優秀な人材を受け入れ、県内の大学において勉学に励むとともに、県民との交流を通して沖縄への理解を深め、帰国後は出身国と本県との国際交流の推進に寄与していただくことを目的としております。

平成16年度は、琉球大学に海外移住者子弟留学生7名・アジア諸国等海外留学生5名、県立芸術大学に海外移住者子弟留学生3名、県立農業大学校にボリビア移住者子弟農業留学生1名の合計16名を受け入れました。

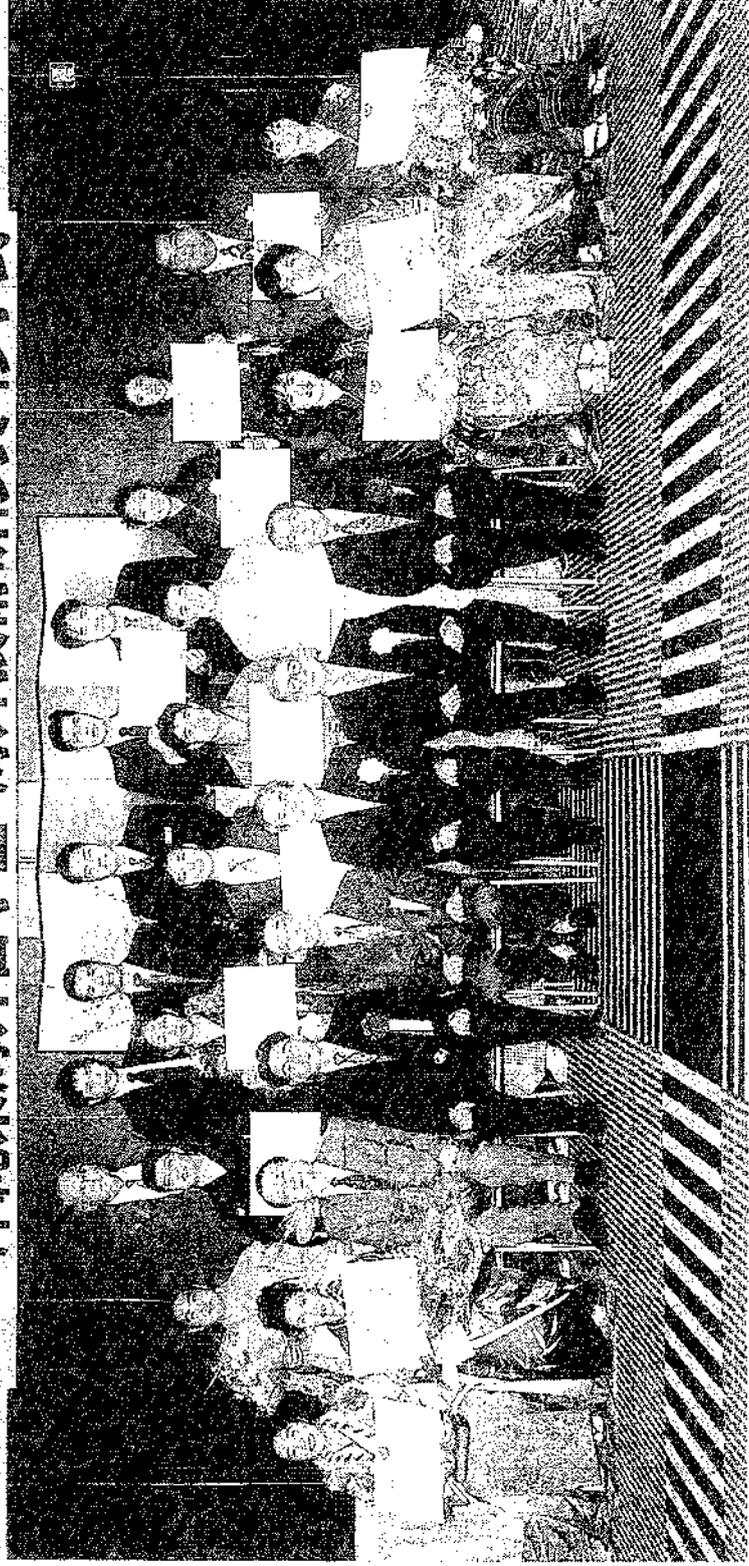
留学生の皆さんが本県での留学を活かし、母国における有為な人材として、また母国と本県との国際交流・協力のかけ橋となることを祈念致します。

この報告書は、留学生が本県での留学中に感じた生活・文化に対する率直な意見、学業成果等をまとめたものです。この小冊子が、当事業についての理解の一助となれば幸いです。

終わりに、この一年間、留学生をサポートしていただきました琉球大学・県立芸術大学・県立農業大学校及び関係各位に対し心から感謝申し上げます。

財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団
理事長 津嘉山 朝祥

祝 平成16年度 沖縄県海外留学生・海外技術研修員 修了式



平成16年度 沖縄県海外留学生 修了式 平成17年3月10日 於沖縄ハーバービューホテル

平成16年度沖縄県海外留学生名簿

1 海外移住者子弟留学生(琉球大学 7名)

写 真	氏 名	出 身 国	県内修学先
	新城 智昭 ネルソン NELSON TOMOAKI ARASHIRO	ブラジル BRASIL	琉球大学 共通教育等 科目等履修生 (日本語Ⅰ・Ⅱ)
	比嘉 エライネ ELAINE HIGA	ブラジル BRASIL	琉球大学 共通教育等 科目等履修生 (日本語Ⅰ・Ⅱ)
	與那嶺 ガブリエル アレハンドロ GABRIEL ALEJANDRO YONAMINE	アルゼンチン ARGENTINA	琉球大学 共通教育等 科目等履修生 (日本語Ⅰ・Ⅱ)
	照屋 亀甲 のりこ ロサリオ NORIKO ROSARIO TERUYA KAMEKO	ペルー PERU	琉球大学 共通教育等 科目等履修生 (日本語Ⅰ・Ⅱ)
	仲程 リベラ エステラ ESTELA RIVERA NAKAHODO	メキシコ MEXICO	琉球大学 共通教育等 科目等履修生 (日本語Ⅰ・Ⅱ)
	上原 シェリル 菊枝 CHERYL KIKUYE UYEHARA	アメリカ U.S.A.	琉球大学 共通教育等 科目等履修生 (日本語Ⅰ・Ⅱ)

写 真	氏 名	出身国(居住地)	県内修学先
	ナカマ ライアン スコット RYAN SCOTT NAKAMA	カナダ CANADA	琉球大学 共通教育等 科目等履修生 (日本語Ⅰ・Ⅱ)

2 海外移住者子弟留学生(芸術大学 3名)

写 真	氏 名	出身国(居住地)	県内修学先
	仲田 城田 ルイス アントニオ LUIS ANTONIO NAKADA GUSUKUDA	ペルー PERU	芸術大学 琉球古典音楽コース 科目等履修生
	平良 安里 リカルド 智 RICARDO SATOSHI TAIRA ASATO	ボリビア BOLIVIA	芸術大学 美術工芸学部 (デザインⅢ)
	渡久地 ダズマン セイチ DAZZMAN SEIICHI TOGUCHI	アメリカ U.S.A.	芸術大学 琉球舞踊組踊コース 科目等履修生

3 ボリビア移住者子弟農業留学生(農業大学校 1名)

写 真	氏 名	出身国(居住地)	県内修学先
	吉田 シュエンク ひとし HITOSHI YOSHIDA SCHWENK	ボリビア BOLIVIA	農業大学校 園芸課程 果樹専攻コース 専門課程学生

4 アジア諸国等海外留学生(琉球大学 5名)

写 真	氏 名	出身国(居住地)	県内修学先
	康 逸嵐 KANG YI LAN	台湾 TAIWAN	琉球大学 法文学部及び 共通教育等 科目等履修生 (日本語教授法等)
	林 純如 LIN CHUN JU	台湾 TAIWAN	琉球大学 法文学部 国際言語文化学科 日本文化専攻 研究生
	黄 競 HUANG JING	中国 CHINA	琉球大学 共通教育等 科目等履修生 (日本語Ⅰ・Ⅱ)
	林 啓福 LIN QIFU	中国 CHINA	琉球大学 共通教育等 科目等履修生 (日本語Ⅰ・Ⅱ、 コンピュータ科学と情報)
	梁 承允 YANG SEUNG YUN	韓国 KOREA	琉球大学 法文学部 国際言語文化学科 日本文化専攻 研究生

目 次

○海外移住者子弟留学生(1 ●名)

・ 沖縄ー故里?!!	新城 智昭 ネルソン	1P
・ 沖縄が忘れられないこと	比嘉 エライネ	6P
・ ありがとう沖縄!!	與那嶺 ガブリエル アレハンドロ	11P
・ OKINAWA ODYSSEY!	照屋 亀甲 のりこ ロサリオ	13P
・ 平成 16 年度沖縄県海外留学生修了報告書	仲程 リベラ エステラ	16P
・ 忘れられない1年	上原 シェリル 菊枝	19P
・ こんな一年間	ナカマ ライアン スコット	23P
・ 沖縄 チムドンドン	仲田 城田 ルイス アントニオ	28P
・ 平成 16 年度沖縄県海外留学生修了レポート	平良 安里 リカルド 智	32P
・ 平成 16 年度沖縄県海外留学生修了報告書	渡久地 ダズマン セイチ	34P

○ボリビア移住者子弟農業留学生(1名)

・ うちなー最高!	吉田 シュエンク ひとし	39P
-----------	--------------	-----

○アジア諸国等海外留学生(5名)

・ 沖縄で過ごした日々	康 逸嵐	44P
・ 沖縄との出会いーウチナー病の私ー	林 純如	47P
・ 忘れられない沖縄の生活	黄 競	52P
・ 故郷	林 啓福	54P
・ 「青いエネルギーの島、沖縄」	梁 承允	61P

沖縄 - 故里?!!

私はブラジルのウチナンタ 新城礼子 智昭です

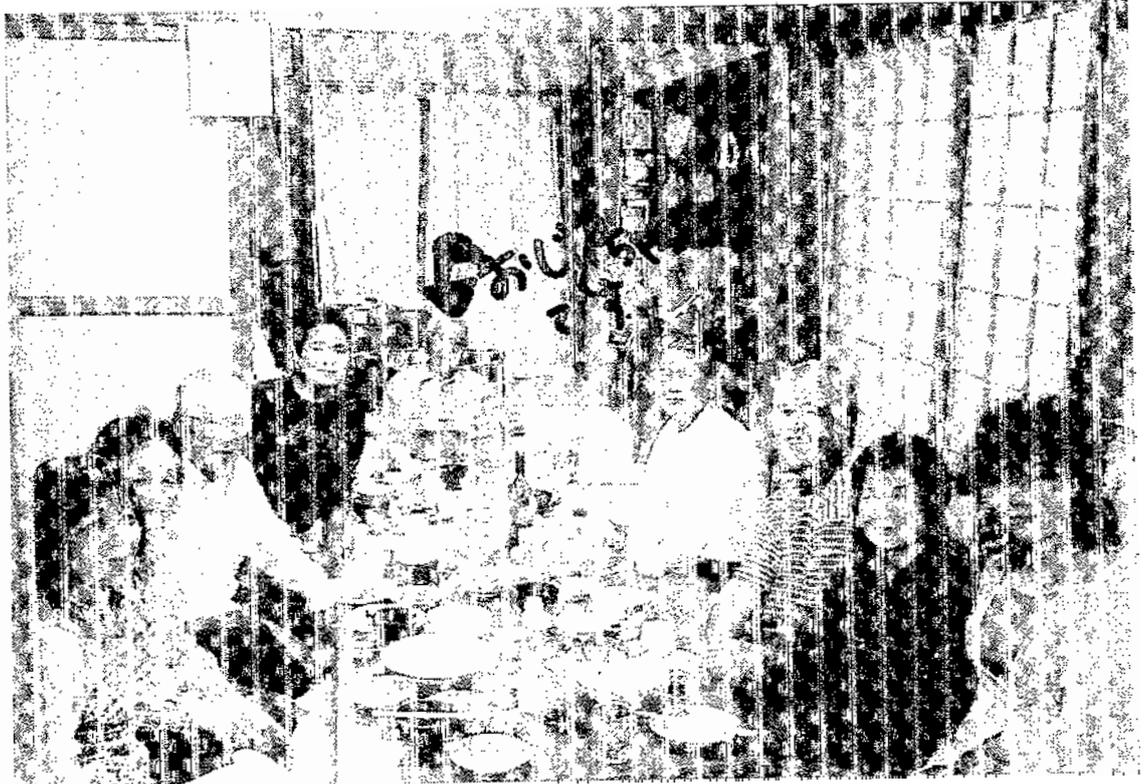
六年前、初めて沖縄に来た、そのときまで知らなかった親戚と会うことが出来た。しかし、私は日本語が分からなくて、おい、おなま とお喋り話せませんでした。

近い親戚に初めて会い、本当に良かったと思いましたが、話が出来なくて、少し恥がかったです。

そんなことがあったが、私が日本語を習おうという気持ちを持っていて、だから、県費留学生として沖縄に来るために、ブラジルの沖縄県人会で試験も面接を受けました。

沖縄に来た、すぐ一年になりました。沖縄について、親戚や友達があたたかく迎えてくれて、すぐおなましました。自分の故里の感じがしました。

親戚
ヤイト
〜



この一年間に一生懸命日本語を勉強して、日本語がきたい
ペラペラでは無いけれど、親戚や友達と話せるようになったので、
すごくうれしいです。

ところで、好きな国の友達が出来ました。その友達と遊びに行き
話したい、勉強したりして、とても楽しかったです。いろいろ違う文化と
接せられて、本当にいい交流でした。今、あちこちに知り合いが
いるので、世界はもっと狭いという感じがしています。

内地に旅行することが出来ませんでした。でも、
いたので、沖縄県のいろいろなところに行きました。
島(宮古、八重山)まで行きました。海はとて
きれいです!

グループ
組



ブラジルでいってうけ料理を食やっているので、食物にやるのは
問題をかたてず、ゴージャンブルーと沖糸曼とばが大好き!!!

たくさん遊んだが、よく勉強もした。琉球大学で日本語の
うけと日本の文化を勉強したり、弁論大会に出たり、友達と
おしゃべりしたり、ホムカル語クラスにボランティアとして
行ったりと、忙しい時もありました。

いろいろ新しい経験が出来て、この一年間は私にとって
かけがえのないものです。是非沖糸曼に帰って来て
又皆さんに会いたい!!!

同級生のみんなです。



先方さん、忘れられない経験は一つで出来ません。
 沖縄国際交流課の方、人材育成財団の方、先生方、
 友達の方、親戚の方、ワヅル沖縄県人会の方、皆様の
 のおかげで、私が素晴らしい一年間を送りました。
 皆様に大変お世話になりました。本当にありがとうございました。
 又いつか皆さんと会える日を楽しみにしています。

修了式



バーベキュー





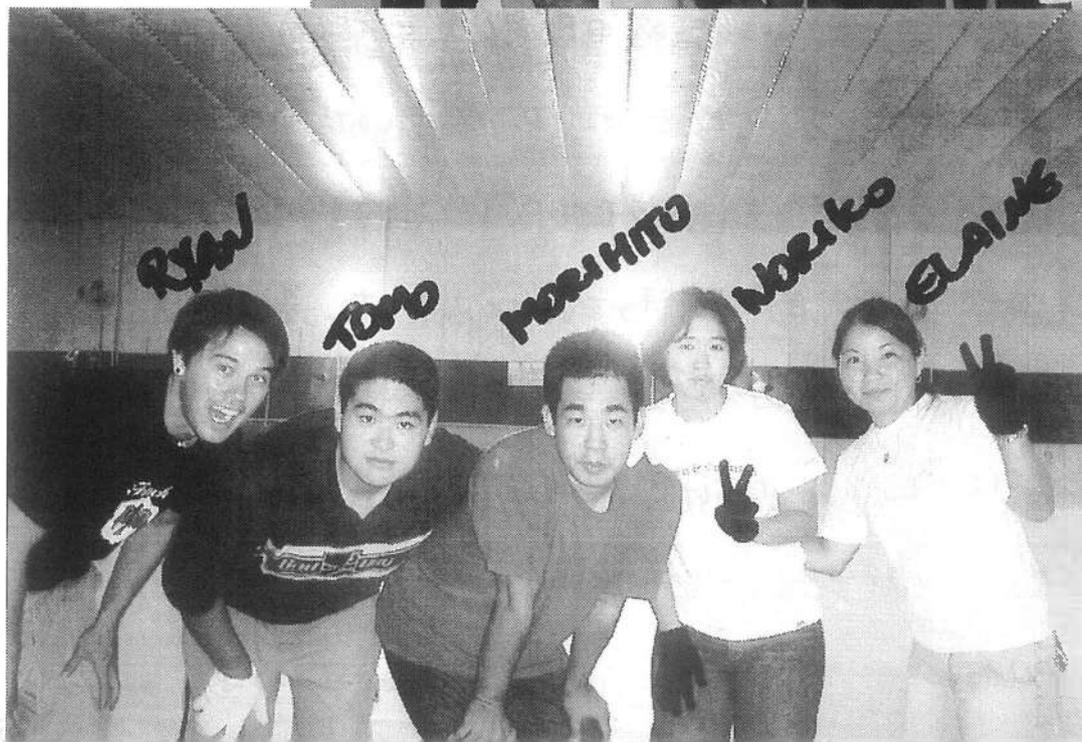
937
パーティ

JESSICA

友達



MADAM I



RYAN

TOMO

MORIHITO

NORIKO

ELAINE

ICE
SKATE 18

沖縄

が忘れられないこと

比嘉 エライ (ブラジル)



もう三月です、今日、県費留学生達と一緒に
修了式の練習をしました。来週修了式がある、
その後国へ帰ります。

私は沖縄に着いてから()の思い出は「カッ
たくさん作っています。ですから、今思い出しながらこのレポートを
書いてみます。

去年、私は初めて沖縄へ来ました。那覇空港へ行った時どきどき
しました。沖縄はどんな所か考えました。

寮に入って、私の小さい部屋を見て、びっくりしました。でもとても
疲れているので、部屋が小さくても寝てしまいました。次の日、同じ寮に住んでいる人達
はたれか来ていたのか聞いたからドアの辺でおしゃべりしていたので私
はかこされてしまいました。私は部屋を出たけれど、はかかしくて、
出られませんでした。三十分たったら自信を持って、出てみました。私は
みんなにあいさつして、みんなはやさしかったです。よかったです! その時から、
せんはいも私と同じくらいいつもたすけてくれました。少しおつたしくなって
私達は一糸番に交換したり、勉強したり、料理を作ったりしていました。
それで友達になりました。

琉球大学に来てやさしくて親切な先生に漢字、文法、会話だけでなく、日本と沖縄の文化も教えてもらってとても楽しかったです。



↓ 新城先生

↓ 平林先生

↓ 私

↓ 興那覇先生

↓ ケリー先生

私は沖縄に来たばかりの時は日本語があまり分かりませんでした。先生は授業でいつも絵やジェスチャーを使いながら、分かりやすくおしえてくれました。

私はいっしょうけんめい勉強して、少しずつ話せるようになりました。そこで友達が出来、うれしかったです。

私は日本語だけ勉強していたので、ひまな時間もたくさんありました。ですから、ほかのこともやりました。琉球大でサークルがたくさんあります。最初は、私はスポーツのサークルに入りたかったけど、ある日琉球王求ふようの糸東習へ行って見て、一生けんめいおどっていた人達を見て、かんどうしました。沖縄の人は気持を入れておどっているからです。だから、このサークルに入ることになりました。サークルの人達はみんなとてもやさしいです。私は日本語が上手じゃなかったからで、いつもゆくり話してくれました。私がかかりかいてきかえなかった日せんばい はジェスチャーを使っておしえてくれました。沖縄での糸東習はブラジルよりずっときびしいですが、とても楽しかったです。

ときどき 那覇 の ホルトカツ 語

のクラスへ行って ホ"ラソティア で 教えて

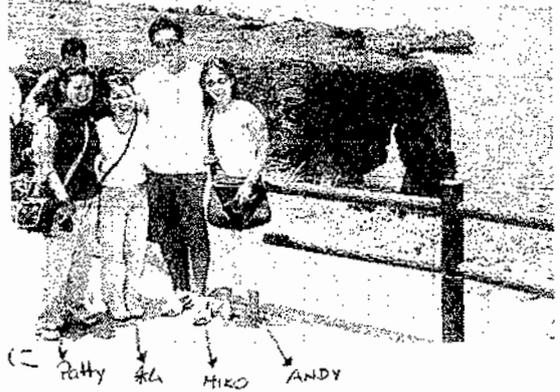
(きました。私達 は色々なことについてしゃ

べっていました。たとえば、生活 や 文化 の

ちがひ)、授業 の後 いても生と人と一緒に

日ごと食飯を 食べていました。食事中 日本語 だけ使っていたので

よかったです 思います。



この一年間に勉強 だけでなく (いろいろ なところへも遊びに
行きました。

初めて 沖縄 の北 ほうへ行った のは 親せき が連れて
行ってくれた 時でした。私達 はプセナリゾート をとめて 色々な所へ
行きました。その日 沖縄 で初めて 親せき に会いました。みんな とても 楽しくて、
親切 だったので うれしかったです。

あつ(夏)休み に来て、私は 友達 と宮古島 へも やえやま へも 行ってました。

私達 はたくさん 泳いだり、泳いだり

して、スノーケルもしました。おここの島は

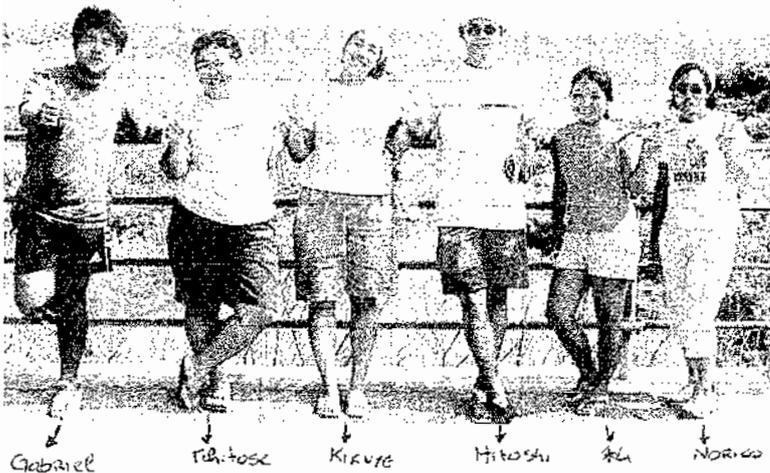
美しいしぜんが ありましたか、それぞれ

のとくちうはわすれませぬ。

冬 休み になると 私は東京 へ

行って来ました。冬の 石冨 修に 会って

ました。冬の 石冨 修に たくさん のことを 学んで、友達 もたくさん できました。東京 のいろいろ



がこうちをまわって来ました。そして、12月24日に日光も行って来ました。日本に住んでいる留学生と研修生は日光であつきて、クリスマスパーティーをしました。その日初めて雪を見ました。みんな雪をなげたりしてあそびました、とても楽しかった。日光はとても寒かったけど、みんな友達になつて心はあたたかく感じました。



この一年間のあいだに多くの人に会えて、こゝろときたすけてもらったのとてもありがたいと思つています。

なみこ おはあん、おはさん達、いとこ達のみなさんはいつも親切で、やさしくて、とても気持ちがあたたかかったです。ありがとうございます。もし、時間があつたら、ぜひブラジルへあそびに来て下さい。

なみね ちい、沖糸県国戸祭交遊・人材育成財団での担当者、ブラジル沖糸県けんいんかい、琉大留学生センターのみなさん、私達の世話をしてくださつてお小せじからたでしゅう。ありがとうございます。

先生方は日本語を教えてくれてありがとうございます。この一年間はたいへんお世話になりました。

與那覇先生、私達は着いたばかりのとき、先生のジウダツンがぜんぜん分からなくてわらいませんでしたね。でも先生はいつも一人でわらつていました、それもせつたいに忘れられません。先生は何かをもたすけてくれました。本当にありがとうございます。

新土城先生、会話クラスは楽しくてとてもやくに立ちました、ありがとう
ございました。先生のダンスは一番忘れないことです。お上手ですね！
先生、ブラジルへ来て、一緒にサンバをおとりませんか！

金土成先生の授業も楽しくて、面白くてとても分かりやすかったです。
ありがとうございました。

平林先生は留学の気持ちをよく分かってくれる先生です。私は
いつも話をして安心できました。先生、本当にありがとうございました。

友達みんな（いっしょに）旅行したり、おたかひにたれけたり、勉強
したりして、とても楽しかったです。ありがとうございました。私はみんなのこ
とは忘れません。

本当にこの一年間はよかったです！友達たくさん作ったり、勉強したり、
旅行したり、旅行したりしました。今、私はブラジルへ帰るけど、この留学
生活は一生忘れません。

ありがとう ございます!!!



ありがとう沖縄！！

おじいさんは私に沖縄についてよく話してくれました。ですから昔から私は沖縄に興味を持っていました。

来る前には、私が持っていた沖縄のイメージは50年前のものでした。それは、みんな一軒のカワラヤーの家に住んでいて、鍵を持って歩く人が少ないというものでした。そして、その家の周りは田んぼしかないと考えていました。

2004年4月12日、やっと那覇空港に着きました。私は飛行機に乗るのは初めてでしたのでうれしそうに楽しみにしていました。しかし、アルゼンチンから沖縄までよく時間がかかることがしていましたが、体験した後は本当に苦しいと思っていました。そして那覇空港に着いたところで私の親戚達が待っていました。そのときは日本語がぜんぜん分からないので親戚達からいろいろな質問を聞いてもらって、ぜんぜん理解することができませんでした。「アルゼンチンは今寒いですか」、「飛行機でアルゼンチンから沖縄まで何時間かかりますか」、アルゼンチンから出る前に祖母から教えてもらったが、みんなとあったときは、多かったのでぜんぜん思い出されなかったです。

そうして、夜の11時ごろ流大の寮に入って、はじめに部屋の準備をして、ゆっくり寝ました。このように私の留学生生活を始めました。

大学を始めたときは日本語もよく分からないので先生が言っていることを理解するのはできないので大変でした。学校だけではなく、買い物をするときも、定員さんが話していることも分からなかったので、「もう帰りたい」と考えていました。そのホームシックは一ヶ月受けてだんだん沖縄の生活になれてきました。そして最近「もう帰りたいくないなあ」と考えています。

沖縄にきてからいろいろを学びました。流大の先生方のおかげで私の日本語をうまくなったし、沖縄の文化と習慣もちゃんと理解できました。私は沖縄に来る前におじいさんは、沖縄についていろいろな話を聞かされました。いつも繰り返し毎日同じ話だったので面白くないなと思っていました。けれども沖縄に来て、先生達や親戚から沖縄の歴史や昔の習慣などを教えてもらって、おじいさんが受けた生活を分かりました。

そうして旅行的に沖縄を全国行きました。たとえば夏休みに石垣島や宮古島に行きました。きれいな海に泳いだり感動的な景色を見たりして、本当に嬉しかったです。

沖縄にいる間、旅行だけではなく、私の専門について見学をとって病院やクリニック、学校なども見学をとって訪問しました。夏休みに、技能座の政体クリニックに通っていました。このクリニックでいろいろな技術や方法などを学んですごく勉強になりました。そして日本の針やお灸の研究について、月に一回沖縄盲学校で授業を通して学生と一緒に日本の針について教えてもらいました。

そして夏休みに、フェリーで石垣島や宮古島まで行きました。フェリーに乗ったのは初

めてでしたので、気分がちょっと悪くなってしまいましたけれども、着いた後はよくなって、楽しい旅行をすごしました。きれいな海や、感動的な景色を見て、おじいさんがよく話していたようにすばらしいと思いました。

12月の冬休みには、冬の研修に参加していろいろな講義や見学あり、

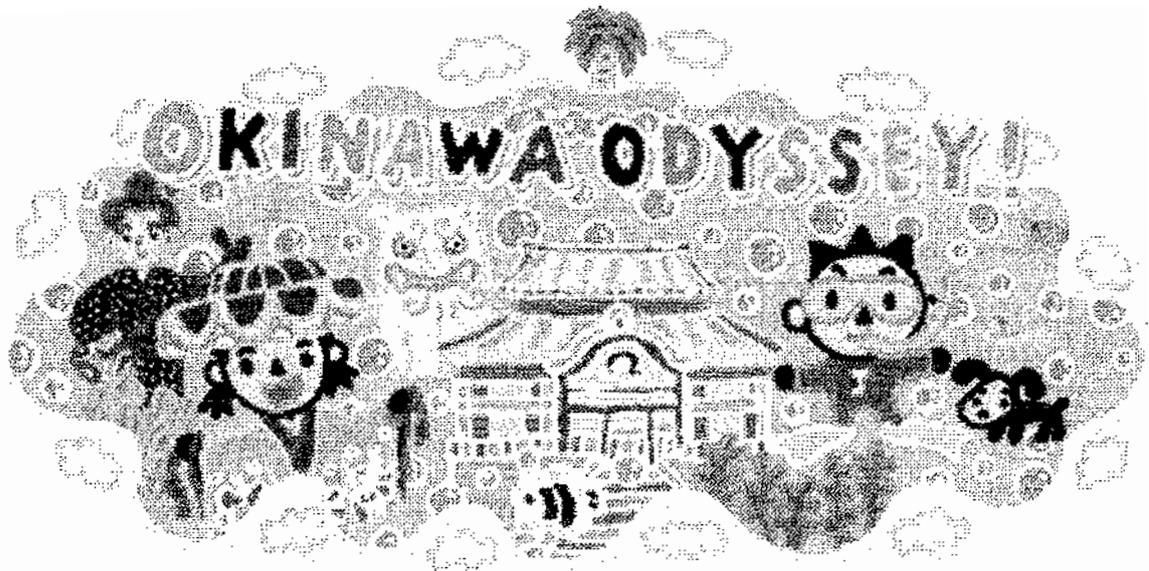


東京のオリンピックセンターでは日系人の留学生と研修生が集まって、いろいろなことをしてクリスマスのはきはみんな日光へ行って一泊二日ホテルでとまりました。そこではクリスマスパーティーしました。みんなも優しくとても暖かい雰囲気を感じました。日光で雪を始めて見たのでとてもうれしかったです。しかし、スキーができる期間がなくて、残念でした。けれども、寒いところでは、やはり温泉が最高です。私は始めて温泉に入りましたが、本当に気持ちよかったです。

このように、この一年間の留学を過ごしました。沖縄県の県庁の皆さん、琉球大学の先生方、私の親戚達、この一年間の留学をいろいろお世話になりましたありがとうございます。皆さんののおかげで、沖縄の文化や、歴史、沖縄の生活などになれて、本当にありがとうございます。

この留学をとして、いろいろな国の友達ができて、その国の習慣や、言葉も少しでも分かってきて感謝します。今は、みんなと別れる道しかありませんが、みんなと一緒に大学の授業を受けて、カラオケでオレンジレンジの曲を歌って、居酒屋でおいしいオリオンビールや泡盛を飲んで、私がみんなと一緒に楽しんだ時間や経験した全てを持って帰ります。将来に、沖縄とアルゼンチンの架け橋の夢を実現したいと思います。

アルゼンチン県費留学生与那嶺ガブリエルより



沖縄に来る前に、一年間ぐらいアメリカで日本語を勉強しました。でも、私の家族は日本語が少ししか分かったけれど、日本語が話せないので、私は家族といつもスペイン語で話していました。日本語が話せるために、日本に行きたいと思いました。そういうわけで、沖縄に留学できて、とてもうれしかったです。

沖縄に来た時、大学はもう1か月前始まったから、ちょっと心配していました。でも、同級生と先生たちはやさしくしてくれて、授業にすぐ慣れるようになりました。クラスメートにはアメリカ人、アルゼンチン人、ブラジル人、韓国人、タイ人、台湾人、ニューカドニア人、ポーランド人など、いろいろな国の人がいきました。みんな明るくて、親切ないいクラスメートです。毎日仲良く勉強して、とても楽しかったです。

大学の前期に、一番大変なのはプロジェクトワークでした。具志川にある中学校へ自分の国について紹介しに行きました。資料を集めたり、原稿を書いたり、ポスターを作ったりして、大変だったけど、役に立ったと思います。中学生と交流して、楽しかったです。

大学の後期に、琉大スピーチ大会が行われました。みんなは先生たちと頑張っていて、楽しかったです。そして、県弁論大会に参加したことがあります。ここは、とても大変でしたが、すばらしい体験だったと思います。



日本語 初級のクラス (1-2組)

日本語の勉強だけでなく、他の活動をしていました。ブラジルのエライネと琉芸のクラブに入って、沖縄伝統的な踊りを習いました。メキシコのエステラと琉球國祭り太鼓の練習に行って、エイサーを習って、最高でした。また、クラスメートと先生たちと沖縄の有名なところを見学しました。首里城、美ら海水族館、平和祈念資料館などです。本当に沖縄文化を学んで私のおじいちゃんとおばあちゃんのことかわかっています。

ところで、夏休みの時、千歳、エライネ、智昭(ブラジル)、菊枝(アメリカ)、音(ペルー)、ガビ(アルゼンチン)と宮古島、石垣島、竹富島、西表島に行きました。海もきれいなところ、景色もすばらしかったし、とても楽しかったです。

冬休みの時、本土を旅行しました。ペルーから日本に出発して来た親戚に会いました。神奈川県に住んでいるいとこのところに泊まって、クリスマスパーティーをしました。そして、静岡県に行き、裾野に住んでいるいとこたちとお正月のパーティーをしました。15年間後、いとこたちに会って、うれしかったです。

二週間で 東京、横浜、浅草、日光、新宿、秋葉原に連れて行ってくださいました。また、エラネと ディズニージーと東京ディズニーランドに行きました。とても疲れましたが、楽しかったです。

一年間で いろいろな国の人に出会って、友達になって、いっぱい思い出かできて、感謝しています。沖縄でこのすばらしい経験かできて、沖縄県国際交流・人材育成財団、ペルーの沖縄県人会、琉球大学に どうもありがとうございます。日本語初級のクラス、皆さんはいろいろ教えてくれて、ありがとうございます。

琉大の先生方に 指導していただき、どうもありがとうございます。

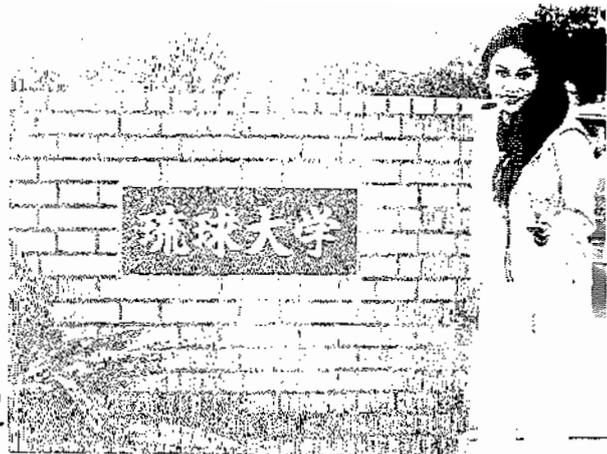
琉球園祭り太鼓様に エイサーの練習に行かせていただき、ありがとうございます。特に ふさえさんと きよしさんに いろいろありがとうございます。

親戚方、先輩方に 大変お世話になりました、どうもありがとうございます。

沖縄で友達になって皆さん、また いつか会いましょう!!



イ中永 リーブ イステラ
(メキシコ)



私はメキシコで始め日本語を勉強している時に考えました。

いつか日本で日本語を勉強したいかと思いましたが、私の祖父は沖縄の人でした。

だから沖縄に行きたかったのです。私は沖縄の習慣と文化を知りたかったのです。

しかし私が思っていたより日本語はかんたんじゃありませんでした。でも本当に住みたかったです。

だから去年(けんぴりゅう)がくでしとして沖縄で日本語が勉強できるよき来たとてもうれしかったです。

私は沖縄についた時こう思いました。「私のあじいさんはここで生まれてここで死んだんだ。」だからうれしかったです。

私はこの一年たくさん経験をしました。たとえば日本で買い物に行きました、お金のものにケ行った時まちがえてちがう物を買いました、財布を忘れて寮まで三時間歩いて帰りました。その時は本当に困っていたけど今では私は笑っています。

沖縄の夏はとても暑いです、ごきぶりがたくさんいます。でも今はもう慣れました。今私は沖縄が大女子です。私はさいは沖縄に来た時タコスとチリソースとトル

ティーザを毎日食べたかったです。でも今メキシコに帰る時、沖縄ではとゴーヤチャンプルとたまごを毎日食べたれと思います。





メキシコ ツティー に リ帰した
私は 沖糸電の 海と
暑日の 寮の 音屋を
思い出さう。

私は 沖糸電で 日本語 と 日本の 習慣と 日本の 文化
を 勉強 できました でも もう ひとつ 大切でした。それは
沖電に きている ほかの 外国人の けんびりや 学生の
習慣と 文化を 知る ことか できました たから 私は
今 沖糸電の人と 外国人の ともだちが たくさん います
私は メキシコに リ帰る 時 いろいろの 経路を 持って
帰ります。

ある 日 私は じやぎょ で 本当に 困って いました。その
とき 先生 は 私か 困っている と ころ を 見つけた
じやぎょ が おわった 時 先生 は 私を 手伝いました
これ は とても たいせつ でした。先生 は もちろん 先生が
くれた でも 先生 という よりも ともだち に なりました。
その 先生 の 名前 は 長谷川 先生 でした。
おなは 先生 いろいろの ことを おもてくちて 本当に どうも
ありがとう でした。

もうひとつ かんしゃしています 翌日 沖縄県国際交
人木育成財団、メキツコの 沖縄県けんじんがいの
スナさん 沖縄県で日本語と（四）かんし文化を
勉強する きっかけをくれて ありがとうございます

琉球大学の先生と 琉球大学にも かんしゃしてい
ます。



日本の親見戚 も ありがとうございます

沖縄県のいろいろなことに かんしゃしています

ありがとうございます

忘れられない一年



この一年間を振り返ってみると、実にたくさんの方がいました。ただ沖縄に日本語を勉強しに来ただけではなく、日本の文化、沖縄の文化についてたくさん学ぶことができました。県費留学生としてこの一年間を沖縄で過ごせたことにとても感謝しています。

琉球大学では日本語の授業が中心でした。副島先生をはじめ、ケリ先生、新城先生、平林先生、與那覇先生、そして私の初級のクラスメイトのおかげで、毎日がんばることができ、最近では沖縄に来た頃よりももっと上手に日本語でコミュニケーションができるようになりました。文法や文型、難しい言葉や漢

初級一組と中級一組



字などだけではなく、日本の文化、沖縄の文化、そしてクラスメイトの国の文化まで学ぶことができました。来たばかりの頃は下手な日本語と自分の母国語を混ぜて話して

いました。聞き取りも難しく、先生が何を言っているのかもあまりわかりませんでした。しかし、十二月に日本語能力試験を受けて、私は三級に合格し

ました。二月の琉球大学での日本語スピーチ大会では、みんな自分の考えていることをきちんと日本語でスピーチをすることができ、大変すばらしいことだと思いました。

私の沖縄に来る前に、日本語だけではなく、三線を通して、沖縄の音楽も勉強したいと思っていました。二年前カリフォルニアで、三線を習い始めていたからです。それで琉大に着いてから、すぐ三線を習おうと色々探しました。し

かし日本語があまりできなかったの、探すのはちょっと大変でした。五

月にやっと琉球芸能

研究クラブに入りました。

そこで前に習った三

線の技術をみがいて、今年の一月の発表会に参加しました。



三線を通して沖縄の音楽について学んだだけでなく、友達もできたし、三線が弾けるということで親戚とより親しくなることもできました。琉大の留学生センターでは日本人と留学生の三線サークルにも入りました。

沖縄に来る前、私は英語の家庭教師の仕事をしていましたので、十月から琉

大付属小学校で英語のボランティアをしました。二年二組の英語のクラスで、

ALT (Assistant Language Teacher) のような活動をしたのです。小学生はみ

んなとても元気でした。日本の小学校とアメリカの小学校では似ている所も違

う所もあるので、とても面白かったです。

私にとって一番貴重な体験は、本や教科書で学んだことではありませんでした。日本の日常生活を体験すること、地元の人とも、他の外国人とも知り合うこと、祝日を祝うこと、祭りに参加することなどがあります。アメリカにはない沖縄そばやチャンプルーをいつでも食べることができたこともとても嬉しかったです。私はハーリーも観に行きましたし、お盆には親戚の家でウートート

私の誕生日
11.02.04



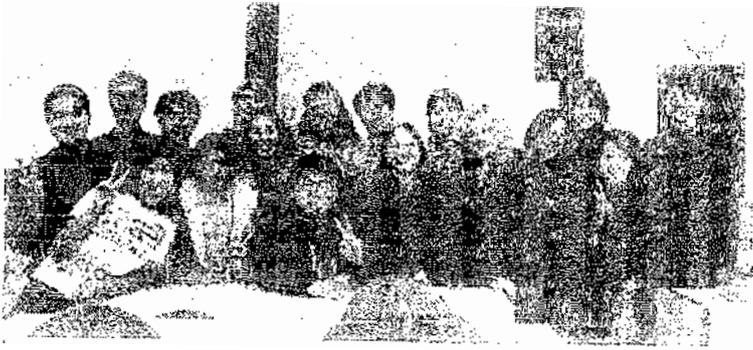
ーもしました。お正月には初詣に行きました。沖縄をもっと知るために、本島だけではなく、宮古や八重山、そして慶良間にも行きました。この一

年間で、沖縄の宝物に触れることができました。青い海、青い空、温かい人々、独特な文化などです。また、女性が夜一人で歩けるほど安全だということもあります。こういった大切なものを沖縄の人だけでなく、世界の人も守っていきましょう！



上原シェリル菊枝
カリフォルニア、米国
二千五年三月七日

一年の思い出



初級一組
しやうきゅういちくみ
最高!!!
さいこう

初詣@成田山神社
はつもうで なりたざんじんしゃ

2005年1月1日



本部の旅
もとふたび
2005年2月12日

...さかば, 友よ,
また二の場所で会おう

菊枝 より
2005.2.10

こんな一年間

仲間ライアン
カナダ

どこから始めたらいいかなあ。。。。

最初にこの写真をちゃんと見てください。ぜんぜん違うでしょう?!?!



顔がきれいな人



発音がきれいな人

こんな一年間は説明しにくいです。英語でも日本語でも言葉だけでちゃんと
言えません。最初の立場から一年間は長すぎだと思いましたが今もう終わってき
て信じられません。

この一年間にいろいろな楽しい経験があつていろいろないい人に会えました。
沖縄へ来た前に思ったのよりいい経験になりました。4月から今まで変わった
ことが多くて、私も変わってきました。一年間はアツという間に過ぎましたが
この思い出は死ぬまで持って行きます。

最初来たとき私はすぐ帰ってしまいたかったです。カナダにはいろいろな大事
なことが待っていたからここに来ることは間違いと思っていました。「日本語が
習えるかなあ」とか「日本語を習いたいかなあ」と考えていました。今ではこの
答えは良くわかっています。「はい、習える。はい、習いたい。」、そして他のこ
とについても習いました。沖縄へ来たことは間違いではありませんでした。実
は今までそういうことは私の人生で決めたことの中でたぶん一番いいと思いま
す。この一年間に学んだことは沖縄でしか習えないことです。このチャンスが
来て本当にうれしかったです。

この一年間に私がやったことは多いですがいろいろな助けをもらいました。来たばかりの時はひらがなしか知りませんでした。そしてまわりにいる人々が助けてくれました。トモとエライネに会ったばかりのときは英語が話せないと言ったのに財■からや大学からのお知らせを翻訳してくれました。菊枝からも同じことをやってもらったけど菊枝の英語は分かりにくいですね。ねトモ、ね！ハハハ！菊枝ごめんね。



トモあきさみよ

この一年間に私は沖縄を出ないで世界旅行ができました。最初は南米でした。色々南米の人々とキャンプへいったりタコスを食べたりカラオケへ歌ったりしました。そのとき日本語よりスペイン語とポルトガル語を勉強した方がいいと思いました。日本語は勉強しにくいですから。その後ちょっと韓国の見学をしました。来た前に韓国のことぜんぜん知りませんでした但现在ではいいイメージを持っています。人々も食べ物もすばらしくて韓国はいいところだと思うようになりました。夏に来てから沖縄を見学しながらフランスのことを学びました。たくさんいい経験ももらって楽しかったです。本当にやさしくてあたたかい人達のおかげで沖縄にいる生活になれるようになりました。みんなにありがとうございます。

授業では何にも分かりませんでした。他のクラスメートの皆は日本語で話せていたしいつも笑っているし楽しそうだと思いました。私だけ静かに分からない顔で座っていました。少しずつみなは私のことを笑っていました。特に与那覇先生は私にいじめる興味があるそうでした。そのいじめることを分かるために一生懸命に日本語を勉強することを始めました。



タコス

琉大の先生方はすごいと思います。今年までそんな親切で面白くて楽しい先生方に会ったことがありませんでした。学生達のために何でもいつでも何回でも助けてくださいました。先生方は忙しいのに大きくて大切なプロジェクトも小さくてつまらない宿題のためにも時間を作ってくださいました。遊び時間も作りました。それで先生たちは先生だけではなくて友達みたいになったと思います。その前にはそういうことを経験したことがありませんでした。



夏が来たら本当の沖縄が見えました。毎日は楽しくて暑くてどこを見てもきれいでした。見ることも感じることも沖縄は大変きれいなところと思います。「島人ぬ宝」の意味が分かるようになりました。言葉を全部まだ分からないのに心で分かりましたこの一年間を通して自分のウチナンチュウーのイメージを気づきました。他の国から来た日系のウチナンチュウーを会えてうれしいです。皆は違う所からののに皆は同じ心が持っています。やっと本の沖縄の文化とかをよく見ました。カナダまでこの経験を持って行って若者達に教えたいと思います。この県費留学生プログラムはとても大事と思います。

多いしいよ

沖縄にいろいろな面白いことをやりましたがまたやりたいことが残っています。ここに日本語を勉強したりあちこちへ遊んだり空手が練習したりしました。そういうことをできたから本当にうれしいです。でも三振を習わなかったし、太鼓もできなかったし、いろいろな所もいけなかったからちょっとがっかりと思っていました。一年間にはやりたいことの全部をできるは無理です。だから心配していません。ちょっとうれしいです。戻って来る理由が多くてあるますから。

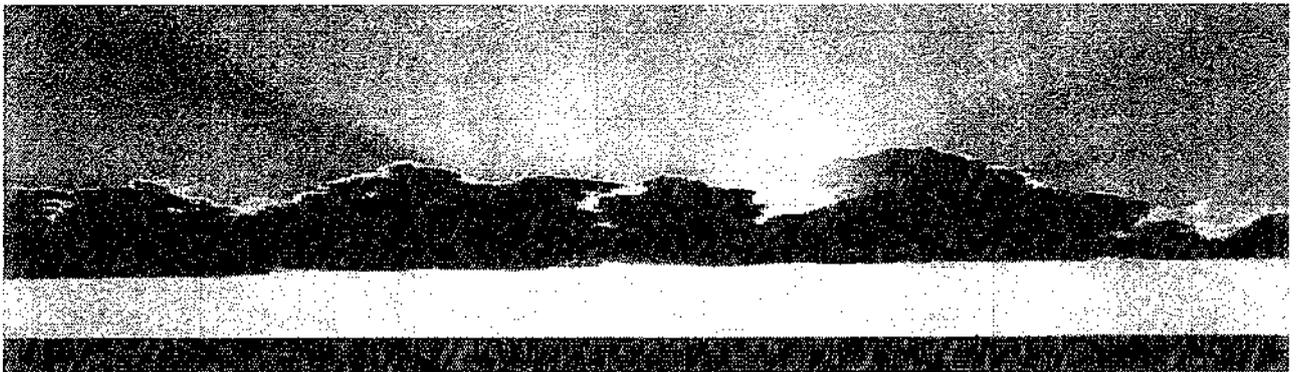
この一年間で私の顔は広くなってしまいました。最初から記者が私を見つけてきて知らないことについて自分のかんそうを聞きました。友達の中で私の日本語が一番下手なのにいつも選ばれた人は私でした。それでテレビのカメラの前に「面白い！」と言ってしまったことが何回か分かりません。今笑えるけどあのときはひどかったです。

今は前と変わってきました。カメラの前で日本語の言葉が一つしか話せなかったからきれいな発音で三分間のスピーチを覚えて言えるようになった私は前と同じ人と信じられないです。

この一年間にうれしいときも悲しい時もある全部大好きです。最初のホームシックの涙から終わりの悲しいさよならのことまで。そして間の笑うことや楽しいことでもこんな一年間が忘れません。ここに会えた友達のおかげでこの一

年間は考えていたよりすごい良い経験になりました。きっと沖縄は特別な所だと思います。皆は色々な遠いところから来たしいろいろな違う道から来たのに沖縄に集まって知り合えるようになりました。それはすごいと思います。皆に会えてよかったです！

今からも一人ずつ自分の道を取らなければならないのにこの一年間の思い出はどこまででも持って行きます。こんな経験、こんな所、こんな友達、こんな一年間が忘れられないよ。いつか、どこか、会えるね！



そのときまでね、お元気で！

心からありがとうございます。

沖縄 チムドンドン

私はペルーから参りました日系三世の仲田ルイス・アントニオと申します。ペルー代表、沖縄県立芸術大学の県費留学生として、去年の5月から今年の3月まで古典音楽歌三線、胡弓、太鼓、日本語を勉強しました。

以前沖縄に来た事がありますが、留学で来たのは初めてです。沖縄に初めて来たのは1990年でした。両親は私と姉を3ヶ月間親戚の所に住まわせてくれました。まだ子どもでしたが良く覚えています。親戚のおじさん、お婆さんはいつも私たち姉弟をいろんな所に連れて歩きました。そして、たくさんの経験をさせてくれました。いつもお姉さんと従兄弟たちと元気なお婆ちゃんのところにも遊びに行きました。遊び疲れて休む時には必ずお婆さんが何かおやつを作ってくれて、それを食べながらみんなでお喋りしたのを覚えています。何を話したかはおぼえていませんが、長い時間コーヒーやお茶を飲みながらいつも楽しくユンタクをしていました。今思い出しても心が温かくなります。特にお婆ちゃんとの思い出は大切な宝物です。

私たち家族は親戚といつも連絡をとりあって絆を深めています。2年前には沖縄の従兄弟の結婚式に両親のかわりに出席しました。その時沖縄に2ヶ月半ほどいることができたので、沖縄の文化を知るいい機会だと思い、三線と太鼓の稽古をしました。

三線は5年前、元県費留学生の先輩から習いました。いつか沖縄に古典音楽を習いに来たいという気持ちはありましたが、ただの夢でした。幸運にもこの夢は、留学というかたちでかないました。

ある日、私は何故沖縄に興味があるのか自分で考えました。子どものときから私の家族の生活の中には沖縄の習慣がたくさんありました。家には沖縄の音楽が流れていたし、母はよくウチナー料理を作ってくれました。父も時々ウチナーグチを使って話しました。私の家の中には「ウチナー」がたくさんありました。このような環境が私の中の沖縄への気持ちを育てていったのだと思います。

私たち日系人の祖先は沖縄からぜんぜん知らない国に移民として渡りました。私はその話を両親から聞きました。いろいろ聞いて、彼らの気持ちや勇気、苦勞などを想像することができました。彼らがいたから、今の自分があります。私は彼らの家族であることに誇

りを持っています。私たちは彼らが作り上げたもの、そして私たちの代まで続いている
いろいろな大切な財産をこれからも守ることが必要だと感じています。

沖縄に来てからいろいろな経験をしました。最初は日本語が上手ではなくて、困ったこ
とや失敗したこともありました。でも、間違えても日本語で話してがんばりました。はず
かしがらないで日本語で話したので、今では日本語を話す事に自信がもてるようになりま
した。何を考えるにも日本語でできるようになりました。

一年間、首里に一人ぐらしでしたが、いろいろなおもしろいこともありました。時差ぼ
けとセミの声のせいで毎朝5時ごろ目が覚めました。その度に自分は地球の裏側にいるの
だと感じました。そのまま起き出して、あまり早くからいろいろなことをしたので、とな
りの人に注意されたこともあります。

来たばかりのころはよく首里のまわりを一人で歩きました。早く街に慣れたくてあちこ
ちを探検しました。暑くてきつかったけど、新しい発見がたくさんありました。

私が沖縄に来たのは、台風の季節の始まりでした。台風は私が考えていたものとはぜん
ぜん違って、百聞は一見にしかずだと思いました。

初めてのことで大変なことも多かったですが、沖縄は住みやすいので慣れるのにあ
まり時間がかかりませんでした。

古典音楽を習いに来た私は芸大の先生の三線研究所に入りました。先生のすすめで新人
のコンクールに参加しました。課題曲は伊野波節という曲でした。とても長くてゆっくり
した曲です。二ヶ月くらい稽古をして、いくら練習してもとても心配する気持ちが消えま
せんでした。コンクールの時に審査員の前で独唱で三線を弾きながら歌いました。きんち
ょうして少しまちがいましたが、合格することができました。とてもうれしかったです。
そして、このおかげで留学がもっと価値のあるものになったと思いました。

また、演奏会にも多く参加しました。特に国立劇場と首里城祭での演奏は心に残ってい
ます。

私の両親と祖父母はやんばる宜野座村の出身です。お盆とお正月にはおばさんの家まで
私の祖先、仲田家の仏壇にウートーをして来ました。親戚の皆と夜遅くまで話しをし
たり、三線を弾いたり、歌を唄ったりしました。

そのときは本当に沖縄の風土を感じた気がしました。そして、祖先のためにたくさんの
親戚が集まって、お互いの心のつながりを深くする場に私もいることができるとてもうれ
しかったです。

私はビーチへ行ってダイビングをしたりするときにはいつも、沖縄はやっぱりパラダイスだと思っています。青い空と美しい海と人の温かい心に触れるとき、沖縄の「イチャリバチャデー」という言葉を感じます。

この沖縄での機会を与えてくださった沖縄県、沖縄県国際交流人材育成財団、沖縄県立芸術大学の先生方と先輩方、沖縄の親戚、両親、姉、友達、そして、ペルー沖縄県人会に心から感謝申し上げます。

どうもありがとうございました。



2004/12/3 第39回琉球古典芸能祭 (私、前川先生、金城さん)



太鼓クラス 比嘉先生



2004/7/29 ビーチパーティー 日本語クラス 中川先生

平成16年度沖縄県海外留学生修了レポート

平良 智

“初めての沖縄でうちなーんちゅの心が芽生えた“

昨年の5月に沖縄県人会のみなさんのお陰で、沖縄芸術大学で研修を受ける事になりました。数ある候補者の中から僕が選ばれ、信じられない気持ちと嬉しい気持ちで一杯になりました。芸術大学の県費留学生として、生まれて初めて日本の沖縄に行く事になったので、興奮を隠し切れないうまま2004年5月に沖縄へ来ました。それからあつと言う間に10ヶ月過ぎて、ますます沖縄から離れたくない気持ちです。

僕はここに来る前、沖縄にあこがれていました。それは、以前友人から沖縄の事を色々聞いたからです。その友人は、以前県費留学生として沖縄を訪れたことがある為、沖縄の自然のすばらしさや、人々の暖かさについていっぱい話してくれました。日本の中の小さな島の沖縄は、空が青く海の色が鮮やかで人々は親切で、独特な文化、歴史などがあり、沖縄で平和に暮らす島人みんながひとつの家族のような心の明るさや笑顔をもって日々暮らしているように見えました。今まで、ポリビアの歴史や文化を学び、それに触れることはできても沖縄に付いては何も知りませんでした。僕は沖縄でそのことをもっと知りたいという夢を抱いていたのです。そして、現在沖縄にいる僕は、夢を叶えられたと感じています。

ポリビアには、残念ながら海がありません。沖縄で海を見る事ができてとても感動しました。今、住んでいるアパートのバルコニーから朝早く臨むと沖縄の景色が見えた事にとっても驚きました。地球の水平線は海に沈んでいて、青い空の色が広がって絵になる美しい風景で、夕日を眺めていると時間がゆっくり過ぎる感じがして、心がいやされます。

初めて経験するものばかりの中で、研修がいよいよ始まり最初はミーティングや集会等がありました。アルゼンチン、ブラジル、ペルー、メキシコ、北アメリカ、カナダ、ハワイ・・・世界中からの研修留学生が集まって自己紹介をしました。私たちはどこへ行っても自己紹介をしなければならなかったので、自己紹介が毎日のようにあって習慣になってしまいました。お蔭様で、お互いに早く知り合うことができ、新しい友情もうまれました。

僕はポリビアでデザインの勉強をしました。そして芸大でもデザインを専攻して、2年生達と一緒に学ぶ事が出来ました。最初の講義は、空想キャラクター作りでした。でも、その講義は僕が沖縄に来る2ヶ月前に始まり、最初のころは講義に慣れるまで時間が掛かりました。この講義は、崎浜先生に指導していただきました。僕は日本のキャラクターやまんがアニメは世界一だと思います。芸大の友達の作品を見ると、ファンタジーの世界がいろんなところで拝見す

ることができて、すばらしいと思いました。そして、先生や二年生達が歓迎会として焼肉パーティを開いてくれました。そこでも、みんなと文化交流ができました。

6月に入ると、琉球ガラスの素材を使って糸満ワイン グラス をデザインして作品を作りました。担当の先生は、中西先生でした。この作品を作ることが出来たのは、僕にとって大変興味深いことでした。この経験を通し、僕はガラスのデザインにもっと関心を持ちました。将来、ガラスのデザインに付いて更に学びたいと思っています。

7月の終わりに夏休みに入りました。夏休みは2ヶ月間あって、親戚訪問と沖縄を見て回りました。天気が晴れて沖縄の海はとても美しくてきれいな青色をしていました。景色はとてもすばらしかったです。夏休み中は、台風も経験することができました。ニュースなどで色々と聞いていましたが、沖縄で実際台風を体験して、とてもびっくりしました。沖縄の人は、台風情報などで前もって準備していましたが、僕は初めてのことだったので何を準備すれば良いのかわかりませんでした。ボリビアでは、台風はないので貴重な体験をしたような気がします。

夏休みが終り新しい講義に入りました。カラー写真と白黒写真を使った写真撮影の講義です。スタジオでは色々な設定の写真撮影の方法を学ぶ事ができました。中本先生に教えていただきました。

この時期には沖縄の祭りがはじまりました。エイサー、三線と太鼓の音、僕の心に響きました。沖縄の島歌は感動します。

生活によって僕は一人暮らしをしているので、買い物や食事は一人で作っていました。ここでは、肉の値段はボリビアと比べてとても高いです。細く短く切っているのにこの値段！と、とてもびっくりしました。そして、困りました。その代わりに、沖縄料理やシーフード料理を楽しみました。このように、初めて経験するものばかりで、沖縄独自の風俗習慣、伝統的な文化、自然環境などを見ながら一年の研修期間を過ごしました。そして、常にクラスメートや先生たちと一緒にずっと活動し、多くの方達と知合う事もできたので、友達をたくさん作ることができうれしく思っています。言葉にならない経験をたくさん得る事が出来ました。

沖縄県立芸術大学の学生、先生方との思い出も一杯つくる事ができて僕はとても幸運だったと思っています。心の底から感謝しています。いつかまた再会できる日が来るだろうと思います。

留学期間中に勉強したものを少しでも多く、僕のキャリアに活用できればと思っています。もちろん、勉強だけではなく短い期間でしたがこの10ヶ月間でうちなーんちゅとしての心を芽生えさせてくれた様々な経験を一生忘れる事はないでしょう。

最後に、この留学が実現できるようにと、いろいろな面で支援して下さいの方々から感謝しています。